

茅野市コミュニティスクール研修会

「地域と学校はパートナー」 ～地域ぐるみで子どもを育てるCSを目指して～

南信教育事務所生涯学習課

唐澤 秀司

本日のお話し

- ① **地域と学校の連携がさらに求められる理由**
- ② **信州型コミュニティスクールと学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について**
- ③ **コミュニティスクールを持続可能にしていくために**

①なぜ、地域と学校の連携がさらに求められるのでしょうか？



「地域とともにある学校づくり」とは？

「子どもたちの豊かな育ちを確保するために、すべての学校が、地域の人々と目標（「子ども像」）を共有した上で、地域と一体となって子どもたちをはぐくむ」こと

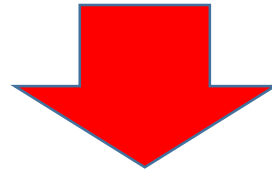


学校運営の改善の在り方等に関する調査研究協力者会議
「子どもの豊かな学びを創造し、地域の絆をつなぐ～地域
とともにある学校づくりの推進方策～」 （平成23年より）

「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【概要】より一部抜粋

学校だけでなく 地域住民等と連携・協働し，学校と地域が相互にパートナーとして一体となって子供たちの成長を支えていく

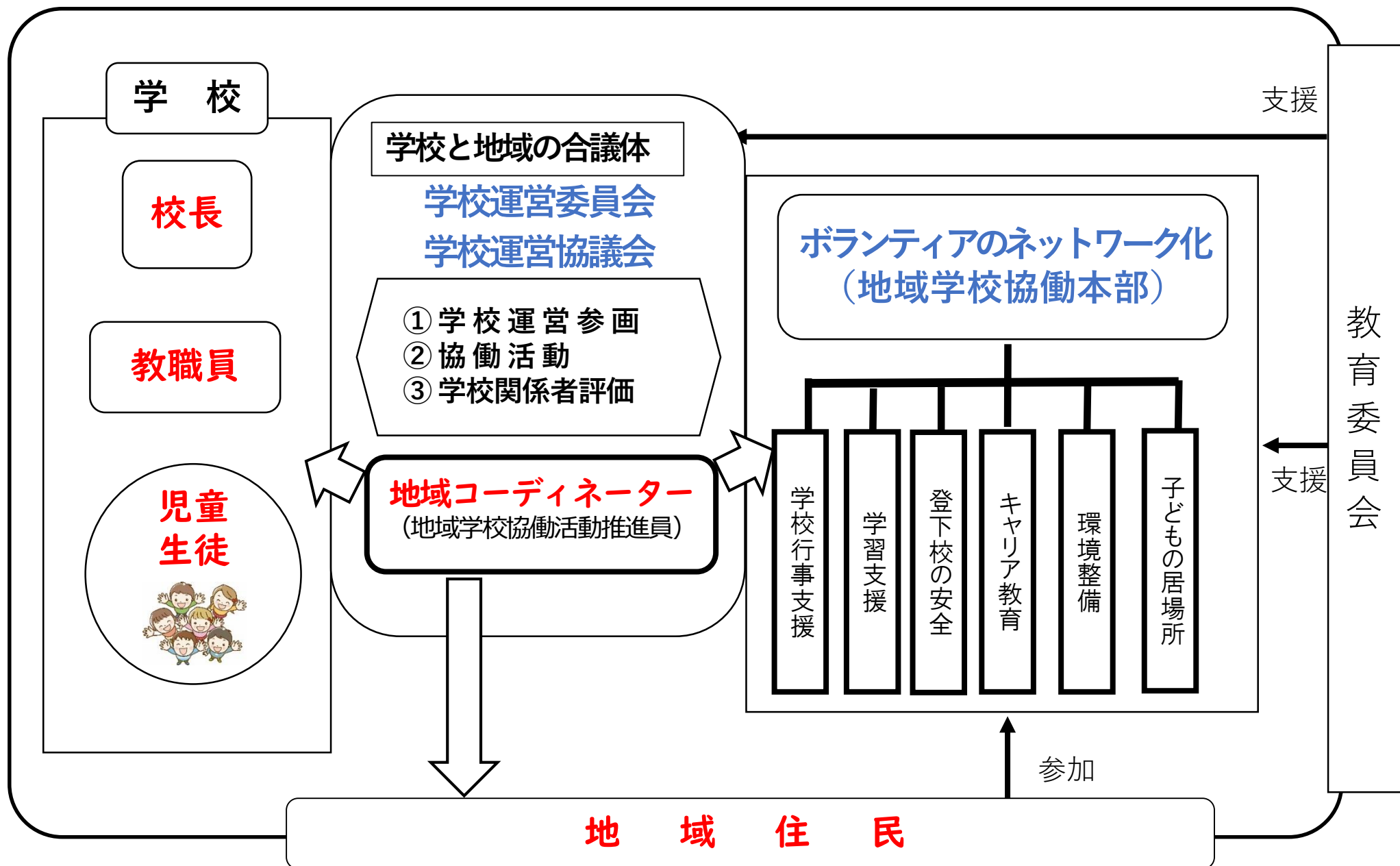


それを実現するために

- 学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たし，相互に連携・協働して，地域全体で子供たちの成長を支えていく環境を整備
- 学校が家庭や地域社会と連携し，社会とつながる協働的な学びを実現

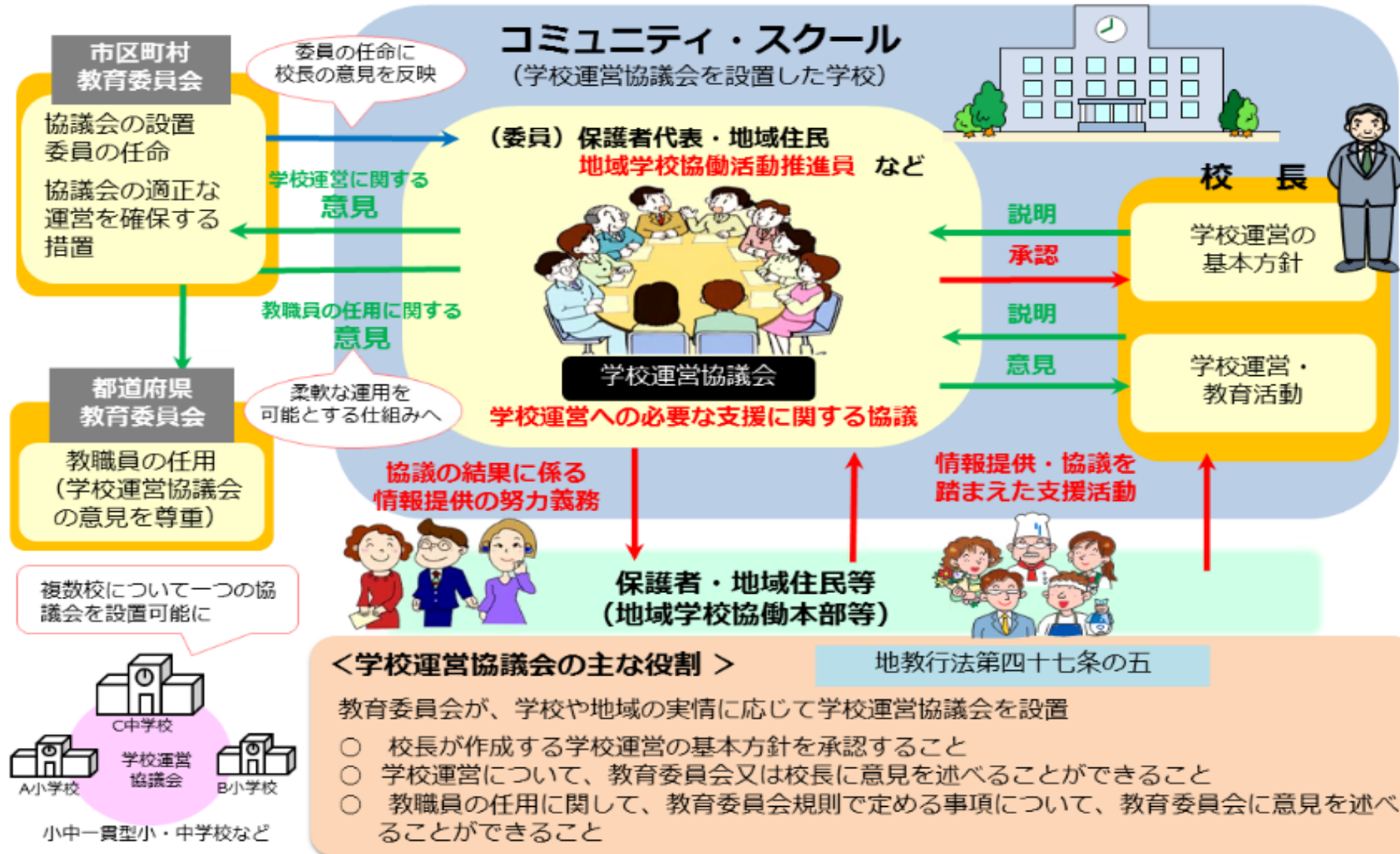
**② 信州型コミュニティスクールと
学校運営協議会制度（コミュニティ・
スクール）について**

信州型コミュニティスクール



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



学校運営委員会と学校運営協議会の比較

	学校運営委員会	学校運営協議会
根拠法令	なし	あり（委員に法的権限がある）
委員	校長が委嘱（教育委員会が委嘱する場合もある）	教育委員会が任命（校長が委員について意見を述べることができる）
委員構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民（自治会・公民館・ボランティア団体等の代表等） ・ 保護者 ・ コーディネーター ・ 校長 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民 ・ 保護者 ・ 校長・教職員 ・ 学識経験者 ・ 関係行政機関の職員 等
主な役割	学校運営委員会 ①学校運営への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す子ども像や学校運営について話し合う ②協働活動（学校支援） ③学校関係者評価	学校運営協議会 ○学校運営への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学校運営の基本方針を承認</u> ・ 学校運営について協議し、意見を述べる ことができる ・ 学校運営に必要な支援についても協議 ・ <u>教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見を述べる ことができる</u>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年複数回委員会を開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会規則の制定が必要 ・ 委員報酬の予算確保が必要

学校運営協議会で話し合う内容

- 学校長作成の学校運営の基本方針の承認（必須）
- 学校運営等に関する意見を述べることができる
- 学校運営に必要な支援
- 教職員の任用について教育委員会規則に定める事項について、意見を述べるができる



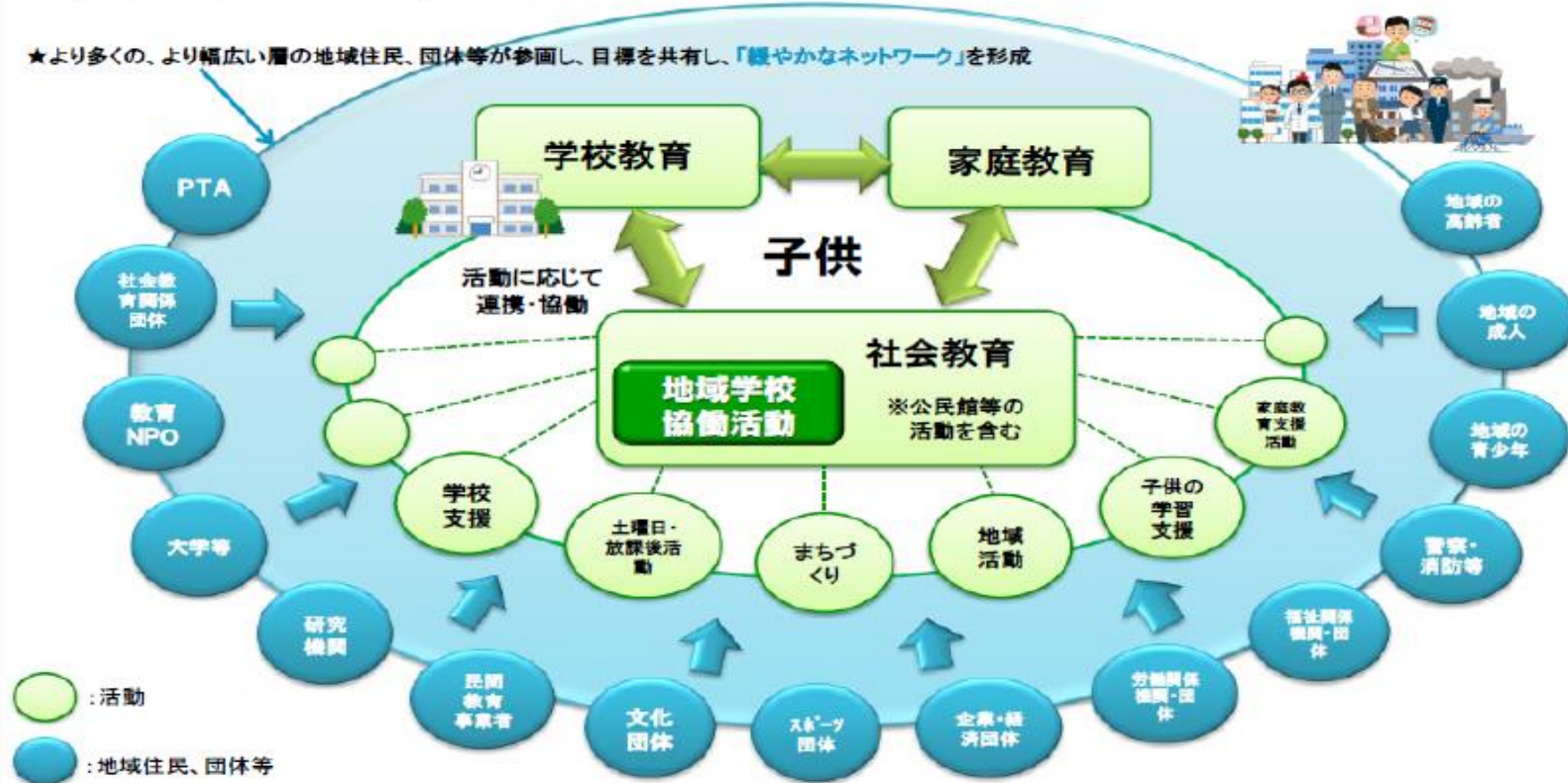
文部科学省 ホームページより

地域と学校の協働活動

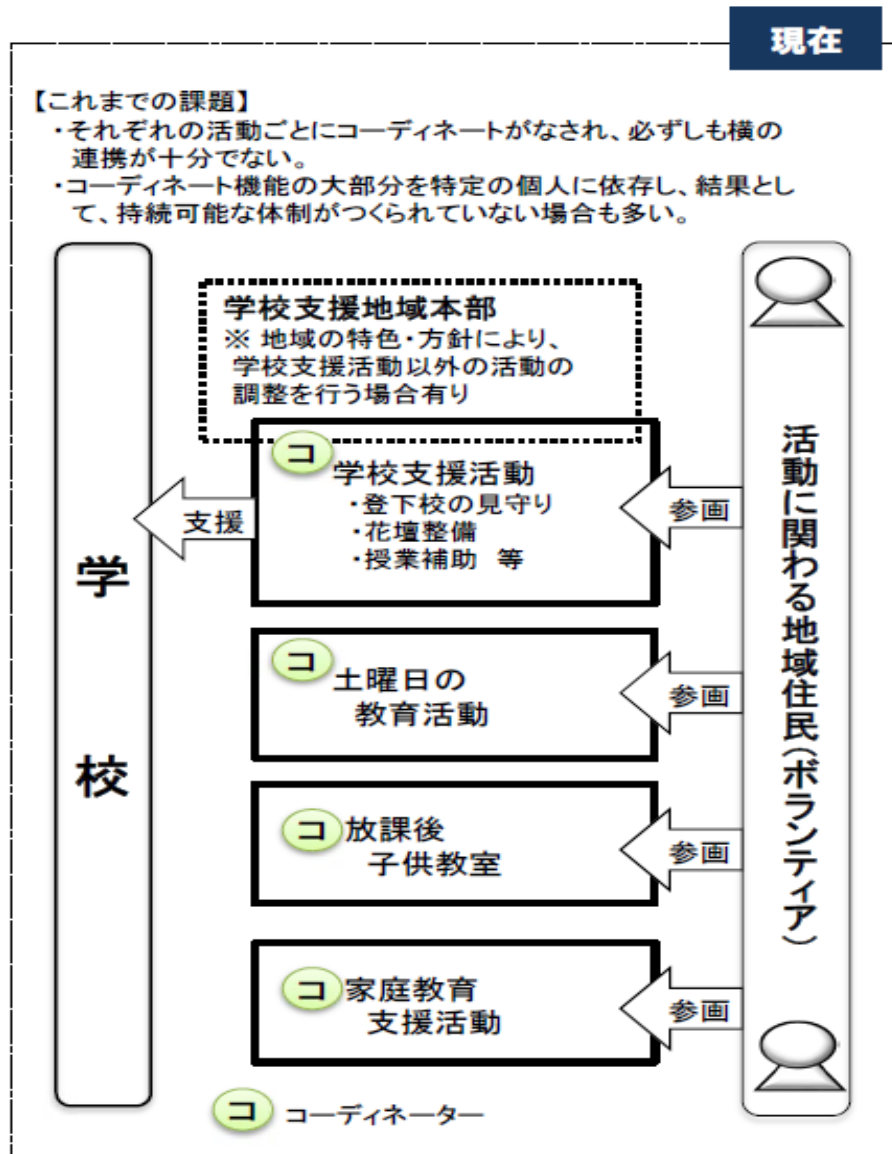
地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

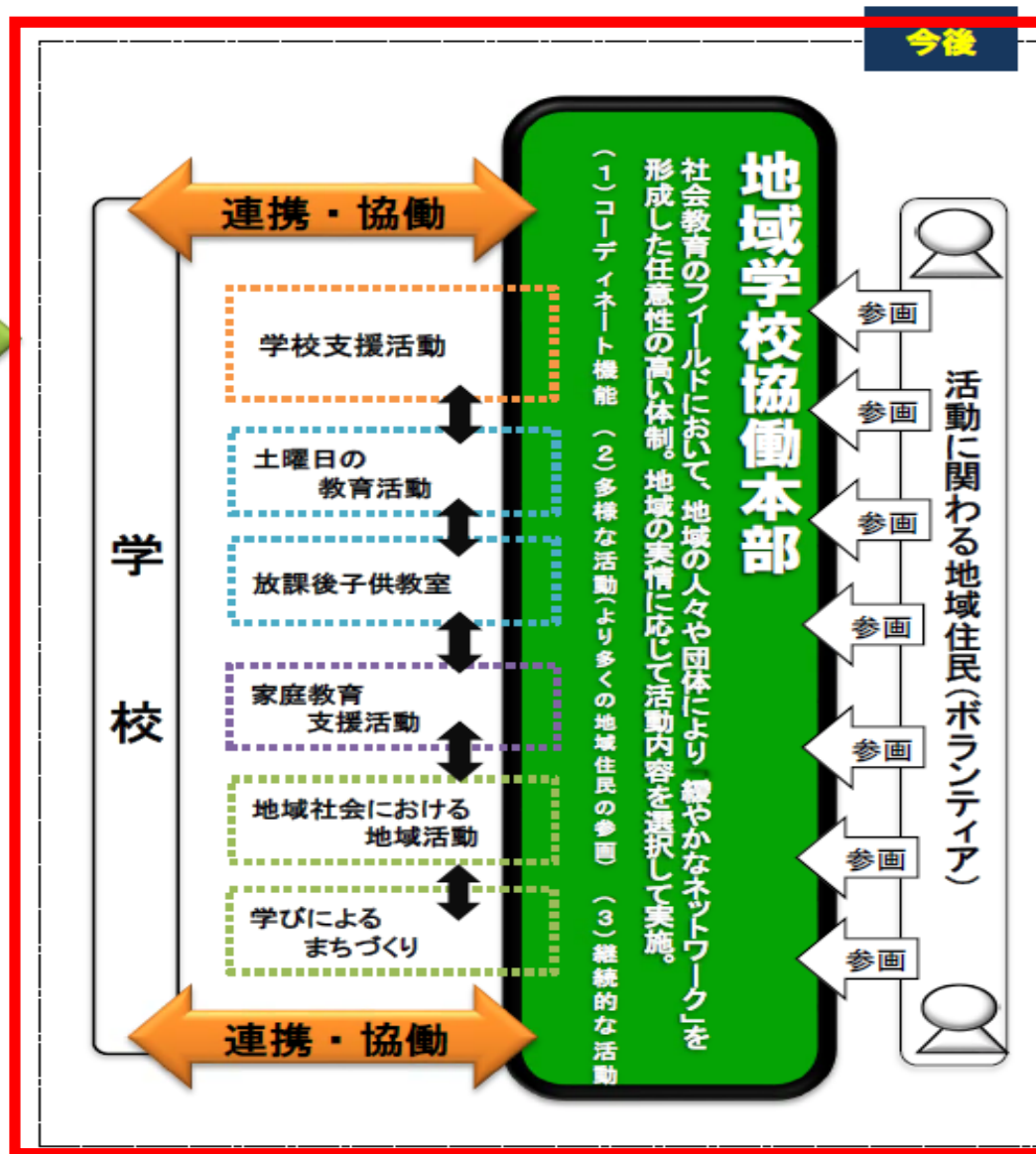
★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



今後の地域における学校との協働体制（地域学校協働本部）の在り方 ～目指すべきイメージ～



- ・コーディネイト機能の充実
- ・個別の活動の総合化・ネットワーク化
- ・「支援」から「連携・協働」へ



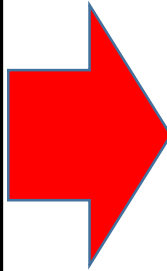
**③ コミュニティスクールを持続
可能にしていくために**

「協働活動」の取組を充実させるには？

地域と学校が**連携・協働**して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくための様々な活動

「支援」

一方的に、地域が学校・子どもたちを応援・支援すること



「連携・協働」

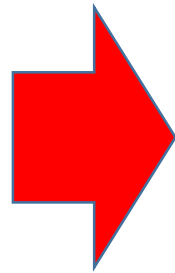
子どもを中心に、学校と地域が共に子どもを育てる**対等なパートナーとして**、**目的を共有して**、協力して活動に取り組むこと



協働活動で大切にしたいこと

**学校と地域で共有した「育てたい子ども像」
を意識して、協働活動に取り組む**

どんな活動をするか？
(何をするか)



何のためにその活動をするのか？

CSを持続可能にしていくための重点

学校と地域で目標や**ビジョンの共有**

すべての学校と地域で、**どんな**子どもを育てたいのかという**目標**や**ビジョン**を共有するための**熟議**を重ね、教育活動を行っていく。



学校と地域で目標やビジョンを共有するための「**熟議**」とは？

- 様々な立場（学校職員、保護者、地域の方等）の人が集まり、
- 地域や学校の課題を共有し、互いの立場や役割への理解を深め、
- 課題を解決していくために、自分に何ができるかを考える



学校運営協議会になることで・・・

<地域>

- ・ 委員に法的な裏付けがあるので、学校の教育課程に地域の意見が反映されやすくなる。
- ・ 教育委員会から委員に任命されることで、責任感が生まれ、共に子どもたちを育てる当事者意識が芽生える。

<学校>

- ・ 地域に承認してもらった運営方針で学校運営を行うことができる。

<教育委員会>

- ・ 独自の特色ある教育を学校、地域、教育委員会が一体となって推進し、市内の学校が連携を図りながら教育活動を実践することができる。

コミュニティ・スクールのメリット・魅力

子供にとっての 魅力

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。



教職員にとって の魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。



保護者にとって の魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

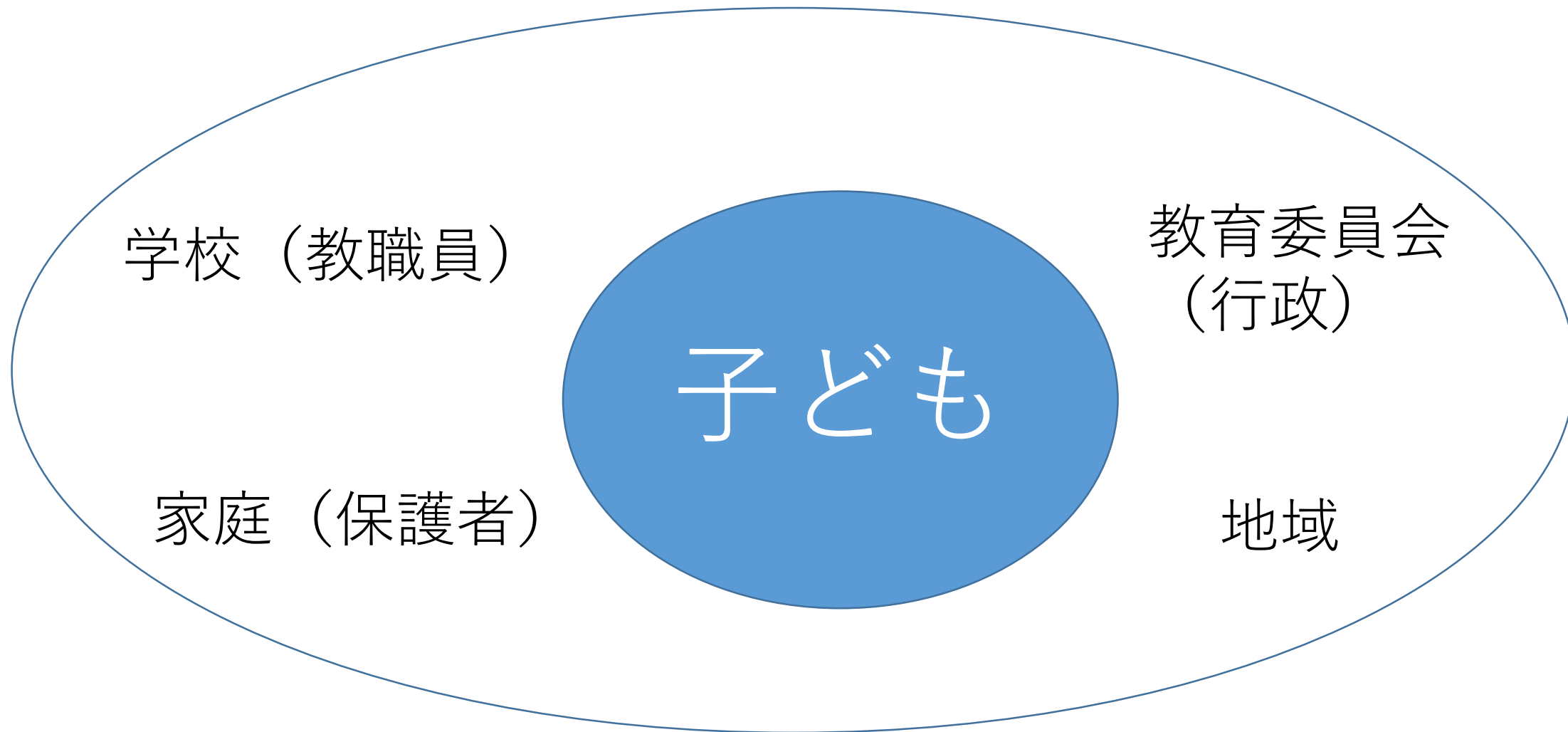


地域の人々に とっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。



5



ゆたかな子どもたちの成長のために